

第89回 定時株主総会

株式会社ユニバンス

2022年 6月24日

監査報告

「連結計算書類に係る 独立監査人の監査報告書」

報告書 26～27ページ

「計算書類に係る 独立監査人の監査報告書」

報告書 28～29ページ

「監査等委員会の監査報告書」

報告書 30～31ページ

事業報告

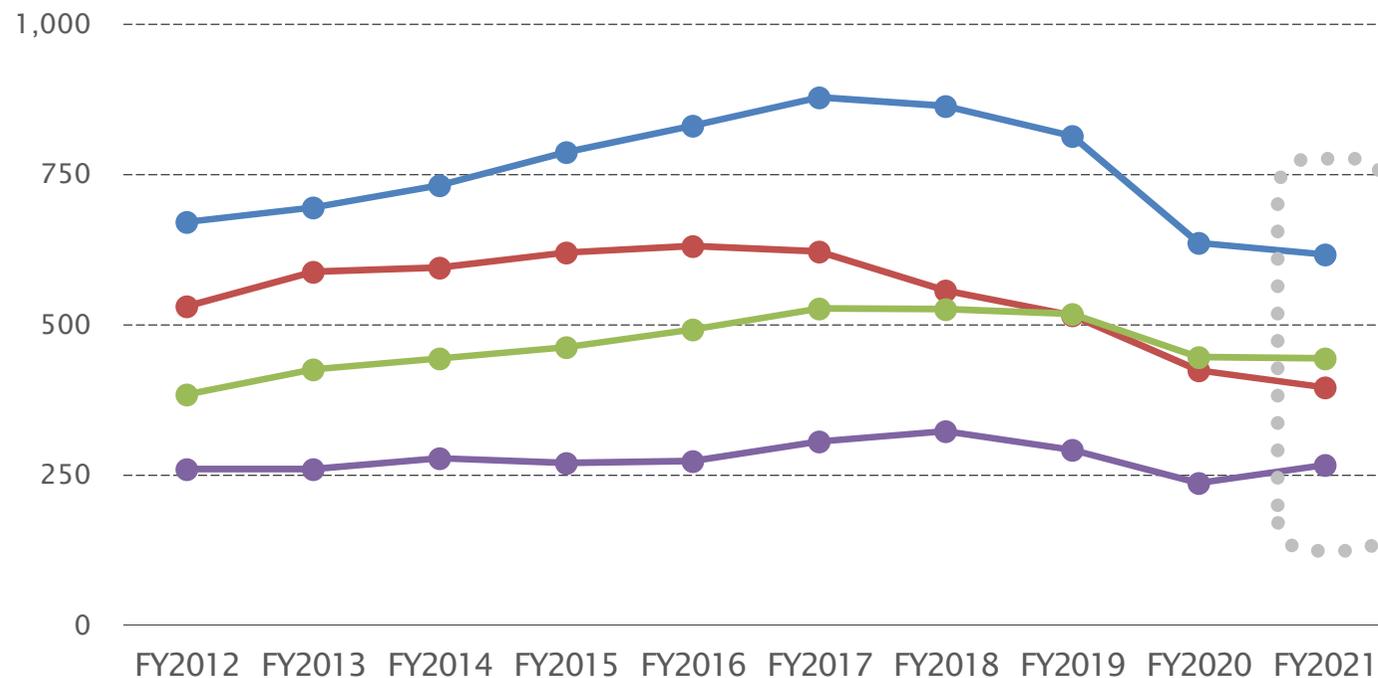
「事業報告」

報告書 3～19ページ

当社グループを取り巻く環境

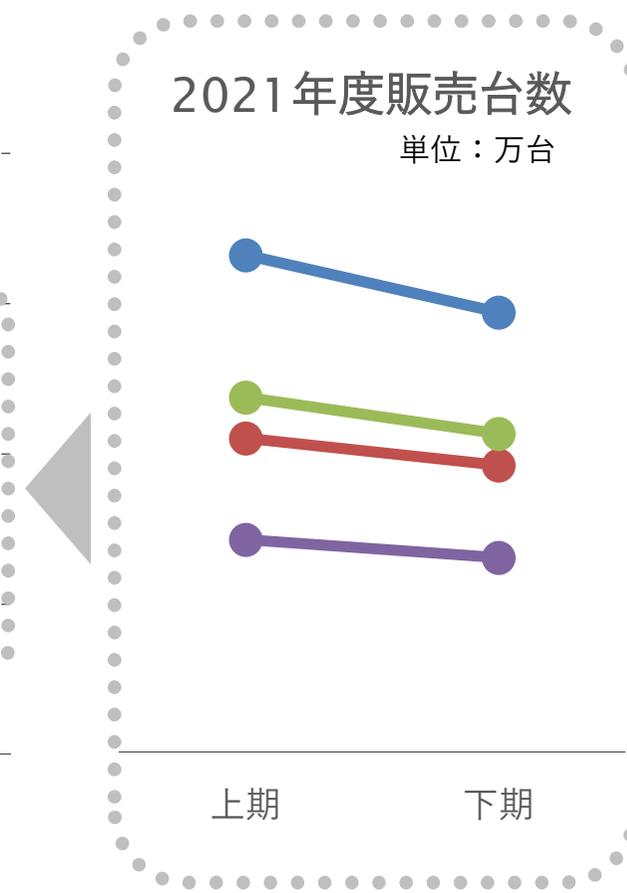
2012～2021年度 メーカー別世界販売台数

単位：万台



2021年度販売台数

単位：万台



連結経営成績（通期）

〈単位：億円〉

	第88期 通 期	第89期 通 期	前期比較	
			増減額	増減比率
売上高	462.5	490.6	—	—
営業利益	△6.6	30.4	37.0	—
経常利益	△2.5	32.9	35.4	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△13.1	28.4	41.5	—

対前年度比較

黒字化

営業利益 (黒字化) 売上高の回復影響に加え、
過年度より取り組んでいる
事業構造改善の効果もあり
黒字化

経常利益 (黒字化)

当期純利益 (黒字化) 上記影響に加え、国内生産
体制再編の一環として浜松
工場等の一部売却により黒
字化

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。そのため売上高については前期と比較しての増減額及び増減比率を記載しておりません。

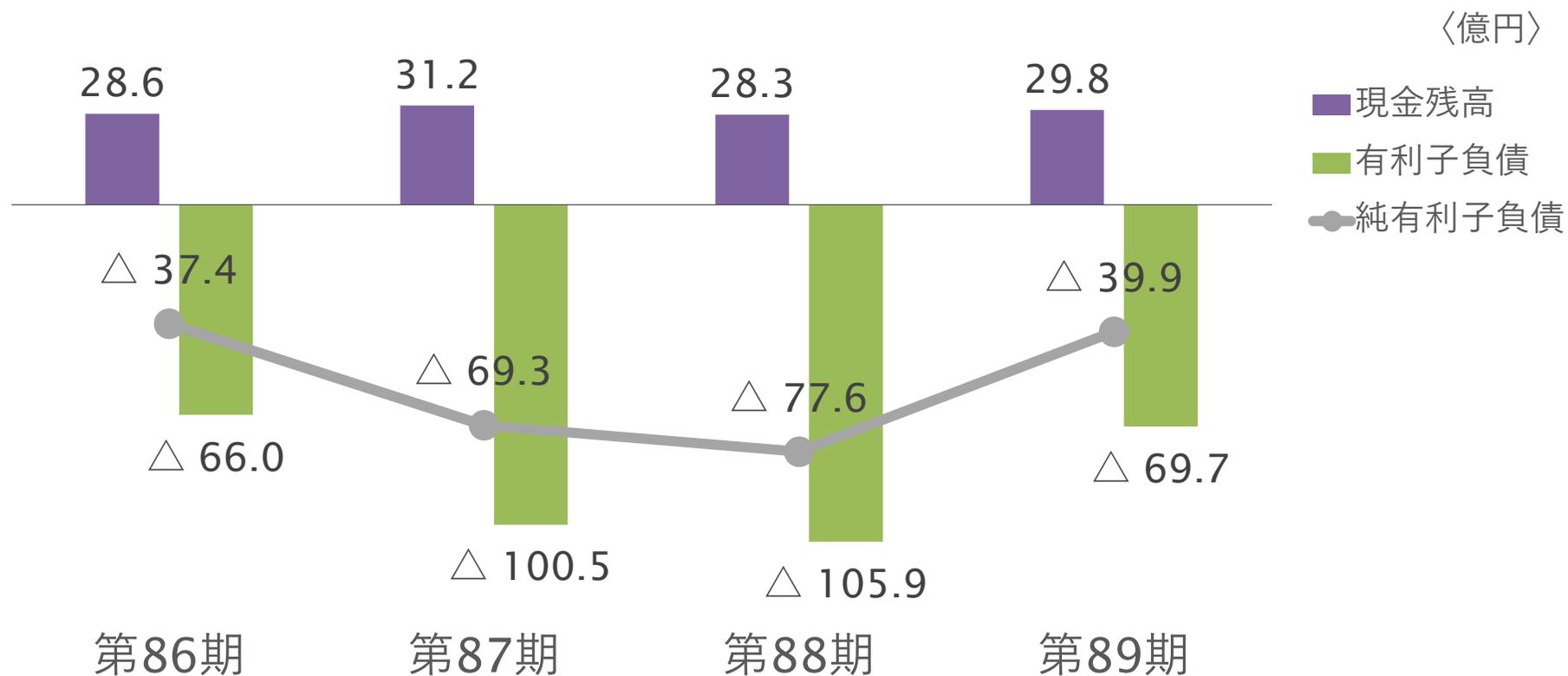
事業セグメント概要

〈単位：億円〉

業務区分	第88期		第89期		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ユニット事業	266.3	△ 10.2	317.2	21.0	— (—)	31.1 (—)
部品事業	195.8	3.5	173.0	8.9	— (—)	5.4 (152.1%)
その他事業	0.5	0.1	0.4	0.5	— (—)	0.4 (279.1%)
連結消去	—	△ 0.1	—	△ 0.0	— (—)	0.1 (—)
合 計	462.5	△ 6.6	490.6	30.4	— (—)	37.0 (—)

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。そのため売上高については前期と比較しての増減額及び増減比率を記載しておりません。

有利子負債と現預金残高の推移（連結）



設備投資等の状況

設備投資総額 22.1 億円

事業セグメント別主要投資

◆ ユニット事業	7.3 億円
◆ 部品事業	14.5 億円
◆ その他事業	0.3 億円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
株式会社遠州クロム	10 百万円	100.00%	特殊メッキ加工業
株式会社ウエストレイク	15 百万円	100.00%	物流容器の洗浄および構内作業
富士協同運輸株式会社	10 百万円	100.00%	貨物梱包業務
株式会社富士部品製作所	15 百万円	100.00%	自動車部品の製造販売
ユニバンス INC.	19 百万US\$	100.00%	自動車部品の製造販売
PT. ユニバンス インドネシア	48 百万US\$	98.13%	自動車部品の製造販売
ユニバンス タイランド Co., Ltd.	202 百万THB	100.00%	自動車部品の製造販売
ユニバンスアメリカ INC.	123 千US\$	100.00%	北米地域における営業及び市場調査

重要な子会社の状況（海外生産拠点）

UIVANCE(Thailand) Co.,Ltd. タイ
4WDトランスファー生産拠点



特徴：材料投入から加工、組立の同期生産



PT. UIVANCE INDONESIA インドネシア
駆動系部品の生産拠点



特徴：歯車（ギヤ）の材料からの一貫生産



UIVANCE INC. 米国
駆動系部品の生産拠点



特徴：市場の多様性に対応した製品



主要な事業内容

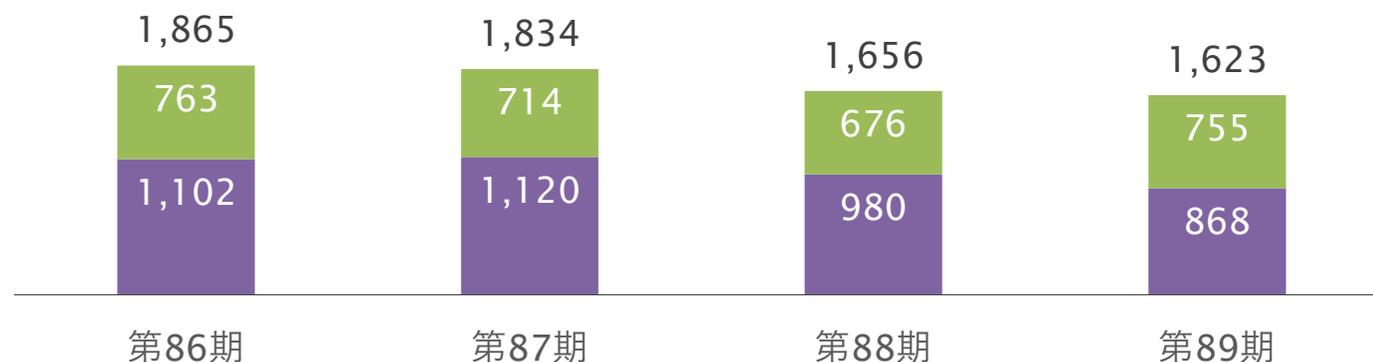
事業区分	事業内容	主要製品
ユニット事業	四輪駆動装置	FR車用4WD用トランスファー、FF車用4WD用トランスファー、4WD用コンポーネント、ATV用デフキャリア
	ギヤボックス	SUV・商用車用マニュアルトランスミッション、EV・HEV用ギヤボックスおよびギヤ
	産業機械	農業機械用トランスミッション、建設機械用減速機、フォークリフトトランスミッション用ギヤ
部品事業	部 品	AT・CVT用部品、デフ用部品、ワンウェイクラッチ、トランスミッション用部品、エンジン用ギヤ
その他事業	物流・工場附帯サービス	物流容器の洗浄、構内作業、貨物梱包業務

企業集団の現況に関する事項

従業員の状況

従業員数推移

■ 当社 ■ 連結子会社 〈単位：人〉



ユニット事業（連結）

〈単位：人〉



部品事業（連結）

〈単位：人〉



その他事業（連結）

〈単位：人〉



企業集団の現況に関する事項

主要な借入先および借入額

借入先	借入額
株式会社 静岡銀行	45.9億円
株式会社 みずほ銀行	19.5億円
株式会社 商工組合中央金庫	4.3億円

会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数

80,000,000株

(2) 発行済株式の総数

23,396,787株

(自己株式2,566,522株を含む)

(3) 株主数 5,393名

(4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
鈴木 一和雄	2,378	11.42%
スズキ株式会社	1,937	9.30%
大同特殊鋼株式会社	1,900	9.12%
株式会社静岡銀行	956	4.59%
谷 史子	477	2.29%
鈴木 真保	408	1.96%
宮本 愛子	368	1.77%
谷 朗	364	1.75%
谷 典幸	352	1.69%
株式会社みずほ銀行	330	1.58%
計	9,470	45.47%

会社役員に関する事項

(1) 取締役の状況

会社における地位	氏名	担当および重要な兼職の状況等	会社における地位	氏名	担当および重要な兼職の状況等
代表取締役 会長 兼社長	鈴木 一和雄	内部監査室 担当	取締役 (監査等委員・常勤)	三好 通生	
代表取締役 副社長	谷 典幸	品質保証最高責任者 NEWing活動事務局長	取締役 (監査等委員)	森嶋 正	森嶋公認会計士 事務所 代表
取締役 技術統括	村松 通泰	開発・技術統括、 情報管理部 担当	取締役 (監査等委員)	谷田部 栄夫	八重洲菖蒲法律 事務所 代表
取締役	志藤 昭彦	株式会社ヨロズ代表取 締役会長、株式会社 アーレスティ 社外取締 役(監査等委員)、 マークライNZ株式会 社 社外取締役			

会社役員に関する事項

(ご参考)
執行役員

会社における地位	氏名	担当
常務執行役員	曾布川 守男	財務担当責任者 ユニバンスグループ全般財務関係
執行役員	谷 健輔	新事業開発事務局 担当 PT.ユニバンスインドネシア 取締役
執行役員	大石 哲司	商品開発部、営業部 担当
執行役員	井本 健	生産管理部、購買部 担当
執行役員	高尾 紀彦	グループ品質保証責任者 PT.ユニバンスインドネシア 会長 マネジメントシステム管理責任者 総務部、品質保証部 担当 (正)環境管理責任者、(正)安全衛生責任者
執行役員	白井 由仁	営業部 担当、ユニバンスINC. 取締役 UVC (JAPAN) 取締役
執行役員	鈴木 一郎	財務（財務会計・資金管理） 担当
執行役員	藤崎 一	経営管理部（管理会計含む）、関係会社 8 社 担当 UVC (JAPAN) 副社長

会社役員に関する事項

(2) 取締役の報酬等

区 分	支給人員 (名)	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)	
			固定報酬	業績連動報酬 ※
取締役(監査等委員を除く) (うち社外取締役)	4 (1)	66,910 (5,300)	60,610 (4,800)	6,300 (500)
取締役(監査等委員) (うち社外取締役)	5 (3)	28,410 (9,970)	25,710 (8,970)	2,700 (1,000)
合 計 (うち社外役員)	9 (4)	95,320 (15,270)	86,320 (13,770)	9,000 (1,500)

※ 業績連動報酬については本総会第6号議案にて上程

会社役員に関する事項

(3) 社外役員に関する事項

① 他の法人等の業務執行者、社外役員の兼職状況

地 位	氏 名	兼職する法人等	兼職の内容
社外取締役	志藤 昭彦	株式会社ヨロズ 株式会社アーレスティ マークラインズ株式会社	代表取締役会長 社外取締役(監査等委員) 社外取締役
社外取締役 (監査等委員)	森嶋 正	森嶋公認会計士事務所	代 表
社外取締役 (監査等委員)	谷田部 栄夫	八重洲菖蒲法律事務所	代 表

会社役員に関する事項

(3) 社外役員に関する事項

② 当事業年度における主な活動状況 取締役会および監査等委員会への出席状況

地 位	氏 名	取締役会（17回開催）		監査等委員会（14回開催）	
		出席回数	出席率	出席回数	出席率
社外取締役	志藤 昭彦	17回	100.0%	—	—
社外取締役 (監査等委員)	森嶋 正	16回	94.1%	14回	100.0%
社外取締役 (監査等委員)	谷田部 栄夫	17回	100.0%	14回	100.0%

会計監査人の状況

(1) 名 称 有限責任 あずさ監査法人

(2) 報酬等の額

	支払額（千円）
当事業年度に係る会計監査人の 報酬等の額	27,500
当社および子会社が会計監査人に支払うべき 金銭その他の財産上の利益の合計額	27,500

会社の支配 に関する 基本方針

「当社の財務および事業の方針の決定を
支配する者の在り方に関する基本方針
（会社の支配に関する基本方針）」

報告書 16～19ページ

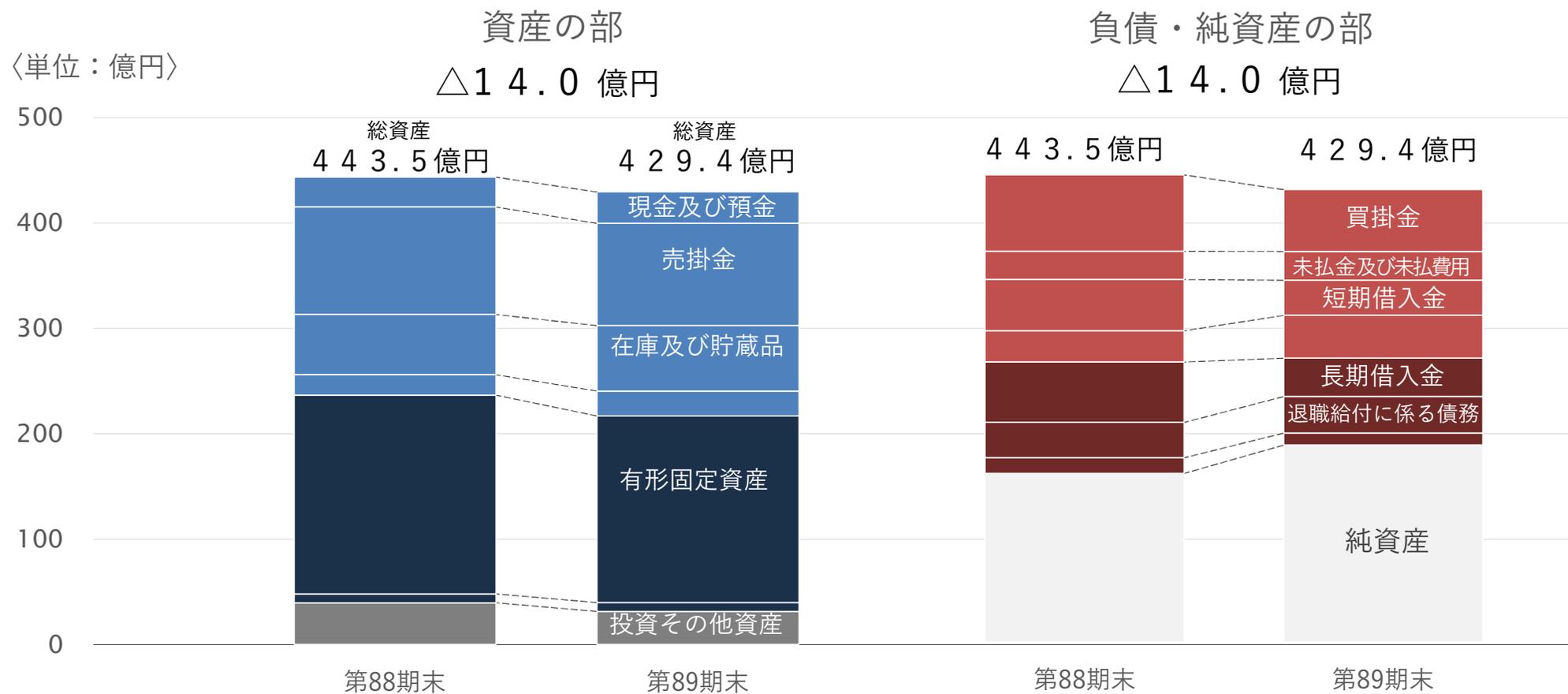
財務諸表

「連結貸借対照表」 「連結損益計算書」
「連結株主資本等変動計算書」

「貸借対照表」 「損益計算書」
「株主資本等変動計算書」

報告書 20～25ページ

連結貸借対照表の報告



連結損益計算書の報告

科 目	金額 (億円)	売上高比率
売上高	490.6	100.0%
営業費用	460.2	93.8%
営業利益	30.4	6.2%
営業外収益	3.8	0.8%
営業外費用	1.3	0.3%
経常利益	32.9	6.7%
特別利益	2.2	0.4%
特別損失	0.2	0.0%
税金等調整前当期純利益	34.8	7.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	28.4	5.8%

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

連結株主資本等変動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで (単位：億円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	35.0	21.7	90.0	△6.9	139.8	15.7	3.7	0.9	20.4	160.2
会計方針の変更による累積的影響額			△0.1		△0.1					△0.1
会計方針の変更を反映した当期首残高	35.0	21.7	89.9	△6.9	139.7	15.7	3.7	0.9	20.4	160.1
連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△1.0		△1.0					△1.0
親会社株主に帰属する当期純利益			28.4		28.4					28.4
自己株式の取得				△0.0	△0.0					△0.0
連結子会社の決算期変更に伴う増減			0.5		0.5					0.5
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△6.0	5.7	△0.5	△0.9	△0.9
連結会計年度中の変動額合計	—	—	27.8	△0.0	27.8	△6.0	5.7	△0.5	△0.9	26.9
当期末残高	35.0	21.7	117.7	△6.9	167.5	9.7	9.3	0.4	19.4	187.0

対処すべき課題 ～ 環境認識 ～

気候変動問題の影響

- ◆ 自動車の電動化による駆動系システムの多様化と既存部品群の縮小
- ◆ 製品ライフサイクルにおけるCO2排出量の削減
- ◆ 自動車の電動化促進とモビリティ社会の変化（CASE/MaaS）

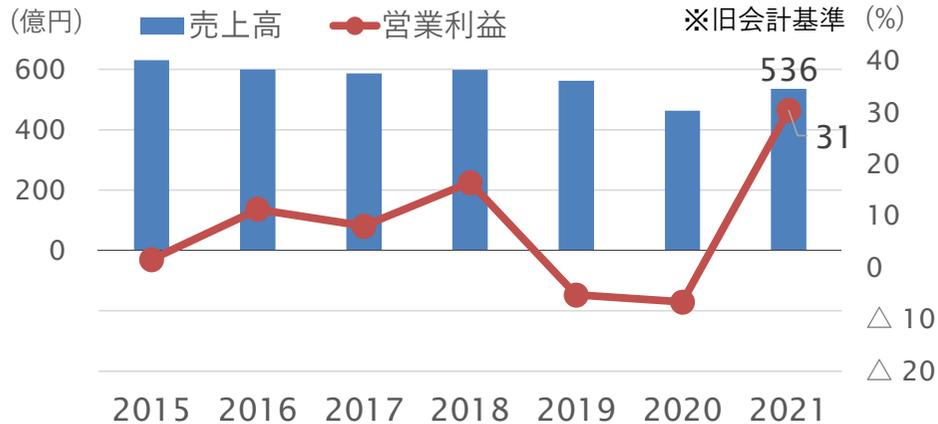
社会的課題への対処

- ◆ ダイバーシティ推進のための労働環境整備と働き方改革

直近の経済状況

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の収束が不透明なことや、ウクライナ侵攻の勃発などから半導体や労働力が不足したことによるサプライチェーンの混乱

対処すべき課題 ～ 2021年度の振り返り～



2019年度の赤字化、2020年度上期のコロナ影響による売上の大幅な減少となったが、事業構造改革の実行と北米市場の販売回復により、2021年度は業績が回復

カーボンニュートラルの推進は
当社商品の販売減少の危機



1. 社会的課題への対応
2. 既存事業領域の収益力向上
3. EV向け商品販売の再構築
4. 新規事業の創造

対処すべき課題 ～ 1. 社会的課題への対応 ～

SDGs達成に向けてESG視点の活動が重要

対象範囲：ユニバンス・グループ全体

ESG	グルーピング	SDGsとのつながり
E：環境	気候変動対策の推進 (カーボンニュートラル@2050年)	     
S：社会	ダイバーシティの推進 働き方の見直し	         
G：ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの充実	   

中・長期的な目標に向けて活動を推進し、活動状況を積極的に公開します

対処すべき課題 ～ 2. 既存事業領域の収益力向上 ～

市場環境に対応したものづくりの向上

生産変動に対応したフレキシブルな生産運営



- ◆ 損益分岐点の低減による収益構造の強化
- ◆ 生産リードタイム短縮によるキャッシュフローの向上
- ◆ 多品種混合ライン化による資産効率の向上

各拠点主導で機動的に判断し自律的に推進します

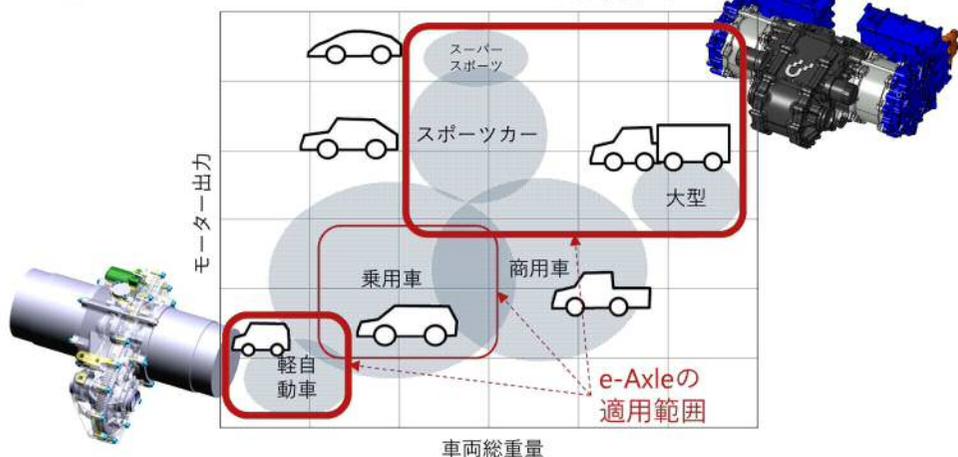
対処すべき課題 ～ 3. EV向け商品販売の再構築～

電動車両向けギヤボックス（e-Axle）の開発加速

ユニバンス e-Axle の特徴

- ✓ 薄型・コンパクト設計
- ✓ 低電費（高効率）
- ✓ 高機能

ユニバンス e-Axle の適用範囲



- ✓ 小型、大型で特徴を発揮

事業化スキームの構築



カーメーカー、システムサプライヤーへ

- ✓ e-Axleの供給
- ✓ ギヤ、シャフトの部品供給

対処すべき課題 ～ 4. 新規事業の創造～

新事業の創出は2つのアプローチを進める
市場・顧客・社会の諸課題を解決するものづくりの事業化を推進

■ 社内従業員によるチーム活動



■ 保有技術を活用した非自動車市場への拡販

保有技術の現状をより詳しく分析・把握・整理・評価を行い、他用途に展開する

「技術棚卸しの分類・みえる化」

「他用途展開・有効活用の検討・整理」

挑戦する企業文化を醸成

対処すべき課題 ～ 事業化の推進～



持続可能な事業を創出するために

- ✓顧客の悩み事を共感し
- ✓顧客の悩み事を解決するソリューションを提案

決議事項

「株主総会参考書類」

報告書 32～41 ページ

剰余金処分の件

(1) 期末配当金

1株につき、金4円

(中間配当金を含めた年間配当金は、1株につき金7円)

(2) 剰余金の配当が効力を生じる日

2022年6月27日

定款一部変更の件

1. 株主総会参考書類等の内容である情報について電子提供措置をとる旨を定款に定めることが義務付けられることから、変更案第21条（電子提供措置等）第1項を新設
2. 株主総会参考書類等の内容である情報について電子提供措置をとる事項のうち、書面交付を請求した株主に交付する書面に記載する事項の範囲を法務省令で定める範囲に限定することができるようにするため、変更案第21条（電子提供措置等）第2項を新設
3. 株主総会資料の電子提供制度の導入により、現行定款第21条（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）の規定が不要となるため削除
4. 上記1～3の規定の効力に関する附則を設ける

第3号議案

報告書 35～37ページ

取締役（監査等委員である取締役を除く）4名選任の件

候補者 番号	候補者の氏名	当社における現在の地位
1	鈴木 一和雄	代表取締役会長兼社長（会長兼社長執行役員）
2	谷 典幸	代表取締役副社長（副社長執行役員）
3	村松 通泰	取締役技術統括（技術統括執行役員）
4 ※	志藤 昭彦	取締役

※印は、社外取締役候補者であります

第4号議案

報告書 38～39ページ

監査等委員である取締役2名選任の件

候補者 番号	候補者の氏名	当社における現在の地位
1 ※	森嶋 正	監査等委員
2 ※	谷田部 栄夫	監査等委員

※印は、社外取締役候補者であります

第5号議案

報告書 40ページ

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

	候補者の氏名	当社における現在の地位
	岡野 隆男	——

※岡野隆男氏は、補欠の社外取締役候補者であります

第6号議案

報告書 41ページ

役員賞与支給の件

役員賞与総額 9,000千円

(うち監査等委員分 2,700千円)

第89回 定時株主総会 閉会

株式会社ユニバンス

2022年 6月24日